

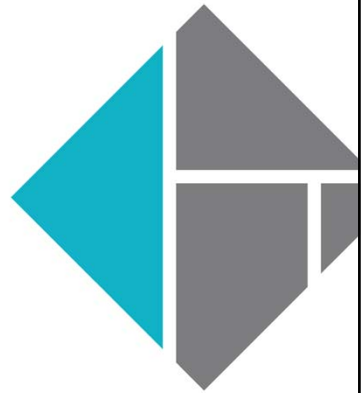


2015年3月期第1四半期 決算説明資料

2014.7.30

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.



(2014年7月30日開催 2015年3月期第1四半期決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・ITホールディングス企画本部長の柳井です。よろしくお願いいたします。

2015年3月期第1四半期 業績概要

2015年3月期 業績見通し

参考資料

- ・本日15:30に発表しました第1四半期決算の内容を中心に、決算説明資料を使って説明させていただきます。

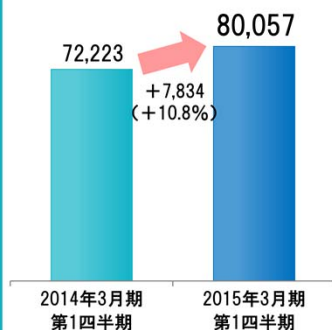
2015年3月期第1四半期 業績ハイライト

事業環境が好調に推移する中、前年同期比増収増益。
⇒売上高は10.8%増、営業利益等は黒字転換。

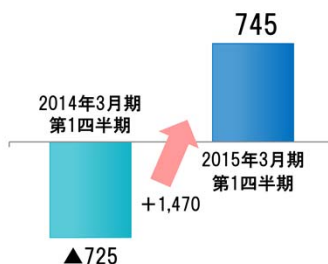
売上高 80,057百万円
前年同期比 +7,834百万円(+10.8%)

営業利益 745百万円
前年同期比 +1,470百万円

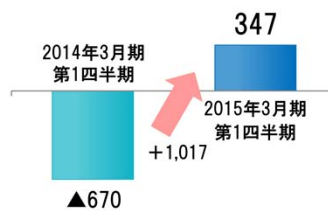
四半期純利益 347百万円
前年同期比 +1,017百万円



顧客のIT投資ニーズを的確に捉えたことや、プロジェクト管理体制のさらなる高度化に伴い工事進行基準の適用案件が増加したこと等により、主要3セグメントで増収。



増収効果及び工事進行基準の適用案件の増加等により大幅に改善し、黒字化。

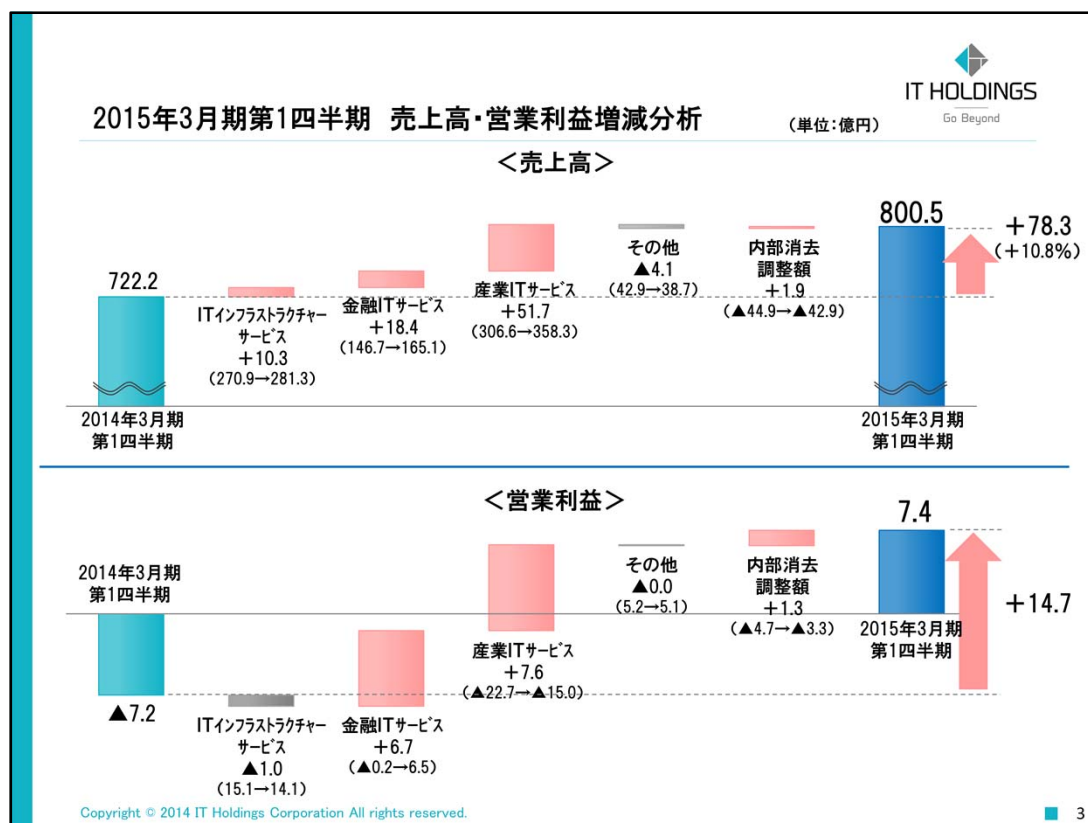


営業利益の増加等に伴い、大幅に改善し、黒字化。

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

2

- ・まず、第1四半期の業績についてです。全体としては順調な立ち上がりといえる内容だったかと思えます。
- ・事業環境が好調に推移した中、売上高は主要3セグメントの全てで増加し、全体では800億円と約11%伸びました。利益面は、営業利益が7.5億円、四半期純利益が3.5億円となり、どちらも前年同期の赤字から黒字転換しました。
- ・主な要因としては、事業拡大による増収等、工事進行基準の適用案件の増加、不採算案件の減少が挙げられます。
- ・工事進行基準の適用案件の増加は、売上高で約35億円、営業利益で約10億円でした。当期よりTISにおいて新社内システムが稼働を開始する等、プロジェクト管理のさらなる高度化が可能となったことによるものです。特に仕掛案件の多い第1四半期においては増加幅が大きくなっていますが、上期または通期にならしてみた場合の影響は軽微だと考えています。
- ・不採算案件は当第1四半期に計11億円発生しました。前年同期の14億円から3億円減少しましたが、水準としては残念な結果となりました。第2四半期以降、プロジェクトマネジメントの強化により、不採算案件の抑制に注力していく所存です。



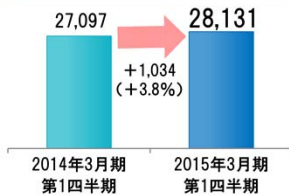
- ・セグメント別の状況ですが、先ほど申し上げましたように主要3セグメントの全てで増収となりました。金融ITサービスではカード系が牽引、産業ITサービスでは特定の業種ではなく全体的に伸びています。
- ・セグメント別の営業利益ですが、増収や稼働率向上等に応じて金融ITサービスと産業ITサービスが増益となりました。ITインフラストラクチャーサービスのみ若干減益となっていますが、前年同期に高利益率であったBPOを含めた一部既存先の規模縮小の影響等によるものです。

2015年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況

(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 28,131百万円
前年同期比 +1,034百万円(+3.8%)



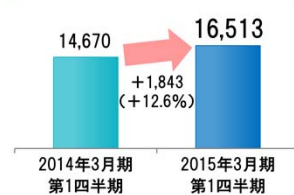
営業利益 1,418百万円
前年同期比 ▲100百万円(▲6.6%)



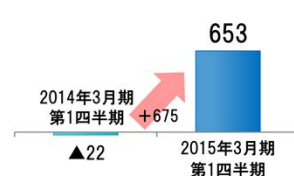
データセンター事業の堅調な推移により前年同期比増収となったが、一部既存先の規模縮小の影響等により、前年同期比減益。

<金融ITサービス>

売上高 16,513百万円
前年同期比 +1,843百万円(+12.6%)



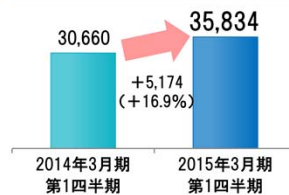
営業利益 653百万円
前年同期比 +675百万円



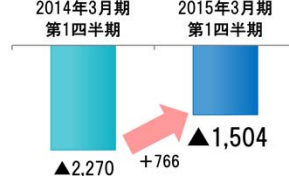
クレジットカードを中心とする顧客のIT投資拡大や工事進行基準の適用案件の増加等により、前年同期比増収増益。

<産業ITサービス>

売上高 35,834百万円
前年同期比 +5,174百万円(+16.9%)



営業利益 ▲1,504百万円
前年同期比 +766百万円

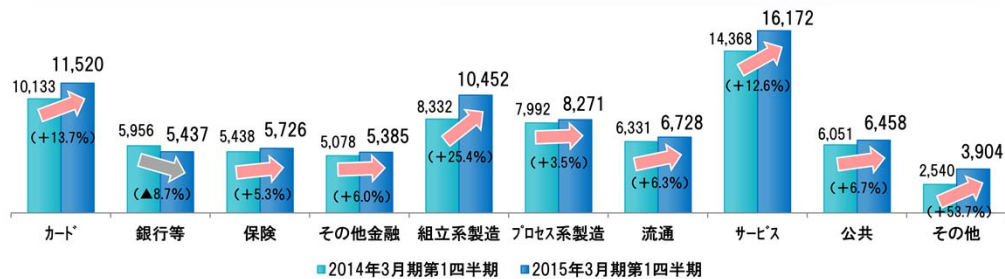


製造やサービスを中心として全体的に好調に推移する中、工事進行基準の適用案件の増加や不採算案件の減少等もあり、前年同期比増収増益。

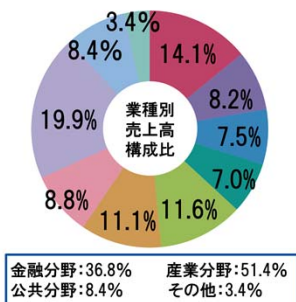
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

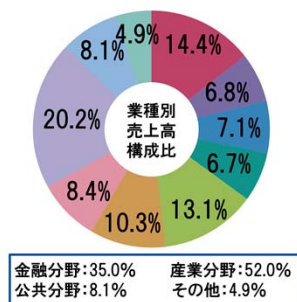
2015年3月期第1四半期 業種別売上高



<2014年3月期第1四半期>



<2015年3月期第1四半期>



Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

5

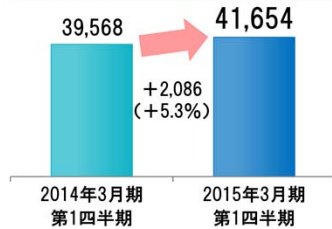
- ・第1四半期の業種別売上高の状況ですが、銀行等を除いて前年同期比で増加しており、全体的に好調であったことがわかりいただけるかと思います。
- ・その中で例えばカードは13.7%増加していますが、業況回復に伴う投資再開によるものと考えています。組立系製造も25.4%増と大きく伸びていますが、例えば自動車関連でディーラーマネジメントシステムの売上高の計上がありました。また、流通では顧客接点、サービスではEC関連等のシステムの仕事があったことによるものです。

2015年3月期第1四半期 受注状況

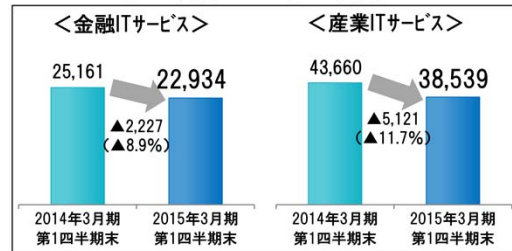
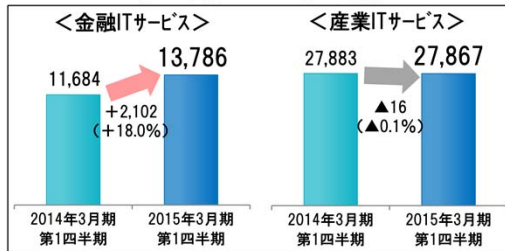
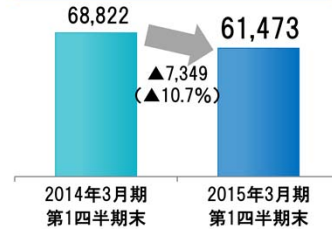
(単位:百万円)

受注高は金融ITサービスが牽引して増加。受注残は消化が進んだため減少。

当期受注高 41,654百万円
前年同期比 +2,086百万円(+5.3%)



期末受注残 61,473百万円
前年同期比 ▲7,349百万円(▲10.7%)

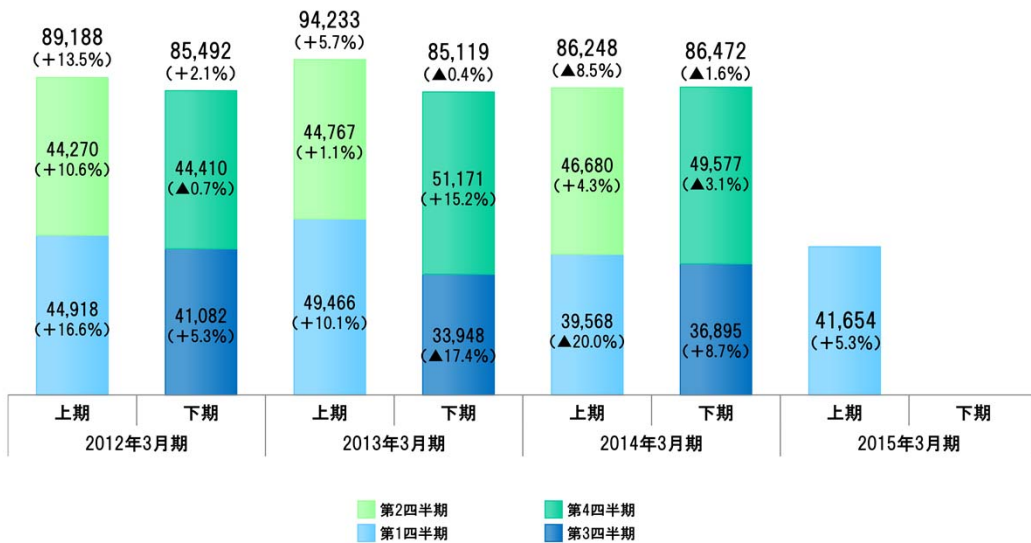


当期受注高・期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。
Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

- ・次に、第1四半期の受注状況です。
- ・受注高は全体で前年同期比5.3%増加し、416億円となりました。カード系を中心として金融ITサービスが牽引しました。金融ITサービスは今後もカード系を中心として、よい状況が続くのではないかと考えています。
- ・産業ITサービスはほぼ横這いとなりましたが、オラクルやSAP関連で規模の大きな案件の引合いもありますので、第1四半期は端境期のような形になりましたが、第2四半期には盛り返してくと見えています。
- ・期末受注残は消化が進んで約11%減少の614億円となりました。先ほど申し上げた工事進行基準の適用案件の増加の影響等もあって減少しましたが、受注高の回復に伴って期末受注残も戻ってくると見えています。

受注高の推移

(単位:百万円)



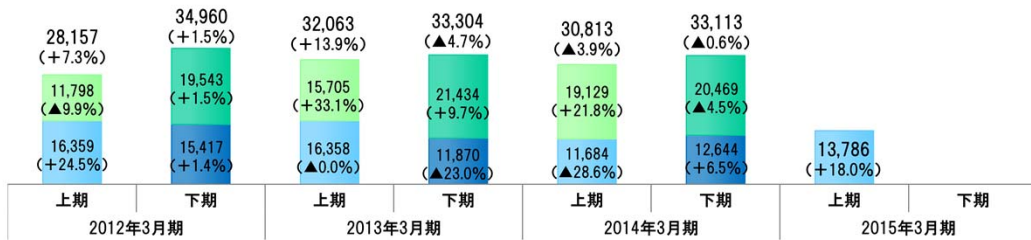
当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

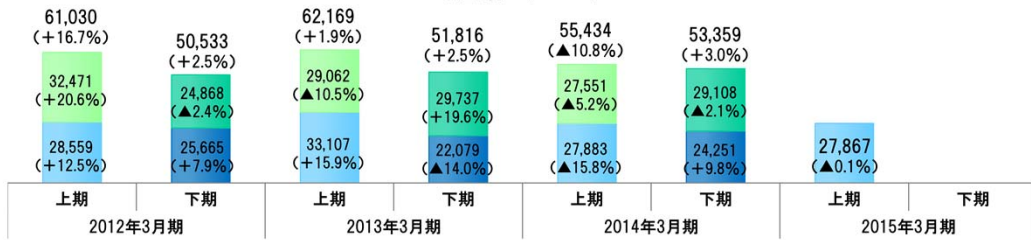
受注高の推移

(単位:百万円)

＜金融ITサービス＞



＜産業ITサービス＞



第2四半期 第4四半期
第1四半期 第3四半期

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

2015年3月期第1四半期 業績概要

2015年3月期 業績見通し

参考資料

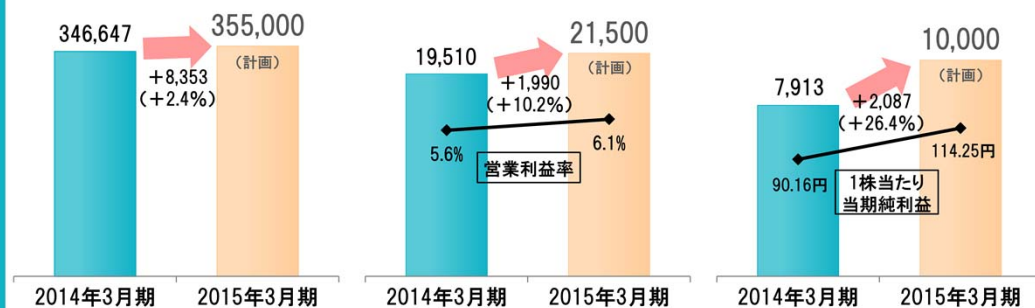
2015年3月期通期 業績予想ハイライト

事業環境の改善が期待される中、事業拡大による増収、不採算案件の発生防止や生産性改善等により、前期比増収増益を計画。
⇒概ね計画に沿って進捗していることから、期初計画値の変更はなし。

売上高 355,000百万円
前期比 +8,353百万円(+2.4%)

営業利益 21,500百万円
前期比 +1,990百万円(+10.2%)

当期純利益 10,000百万円
前期比 +2,087百万円(+26.4%)



金融ITサービス及び産業ITサービスを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、前期比増収を見込む。

増収効果、不採算案件の発生防止や生産性の改善等により、増益を見込む。

営業利益の増加や特別損失の減少等により、前期比増益を見込む。

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

10

・最後に通期業績見通しですが、第1四半期の状況が概ね期初計画に沿って進捗していると考えられていますので、期初計画の変更はありません。

通期計画は売上高3,550億円、営業利益は215億円、当期純利益は100億円です。なお、上期計画はP.14に掲載のとおり、売上高1,650億円、営業利益90億円、四半期純利益45億円です。

2015年3月期通期 売上高・営業利益増減分析(予想)

(単位:億円)

<売上高>



<営業利益>



2015年3月期通期 主要セグメント別損益状況(予想)

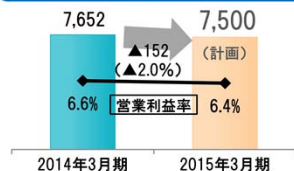
(単位:百万円)

ITインフラストラクチャーサービス

売上高 117,200百万円
前期比 +1,840百万円(+1.6%)



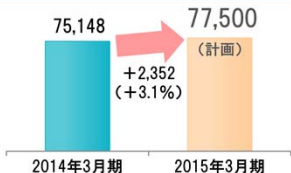
営業利益 7,500百万円
前期比 ▲152百万円(▲2.0%)



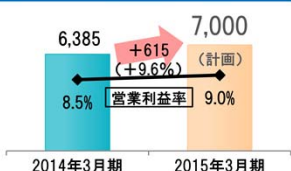
データセンター事業・BPO事業の安定推移から前期比増収を見込むが、設備費用の負担増等により、営業利益は前期比減益見込み。

金融ITサービス

売上高 77,500百万円
前期比 +2,352百万円(+3.1%)



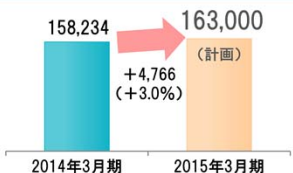
営業利益 7,000百万円
前期比 +615百万円(+9.6%)



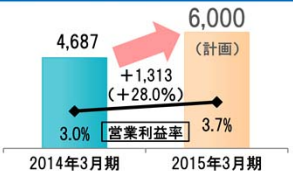
クレジットカードを中心とした金融業界全体の需要増に伴うIT投資の増加により、前期比増収増益を見込む。

産業ITサービス

売上高 163,000百万円
前期比 +4,766百万円(+3.0%)



営業利益 6,000百万円
前期比 +1,313百万円(+28.0%)



全体的なIT投資増加に伴う事業拡大に加え、不採算案件の発生防止や生産性の改善等により、前期比増収増益を見込む。

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

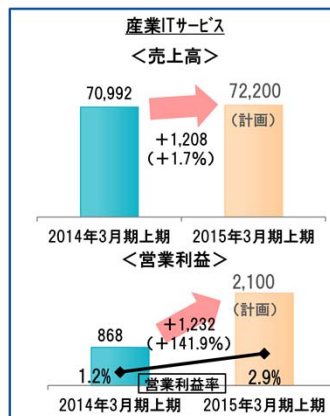
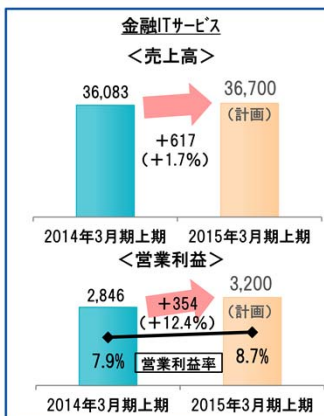
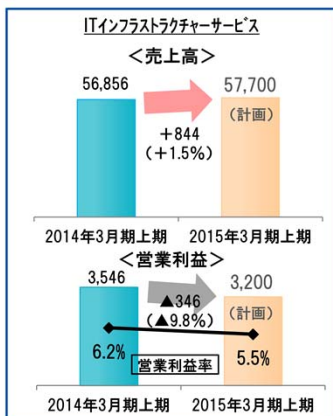
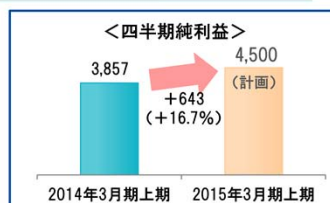
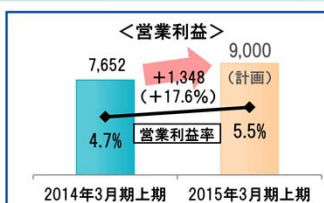
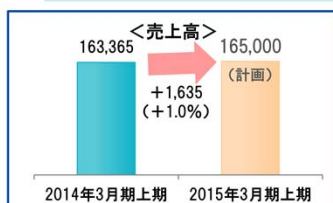
2015年3月期第1四半期 業績概要

2015年3月期 業績見通し

参考資料

2015年3月期上期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

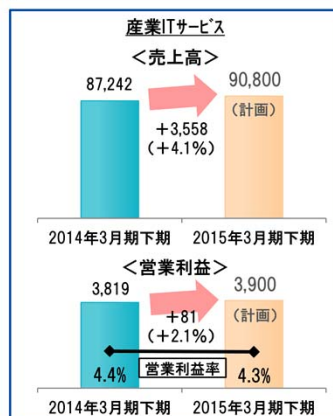
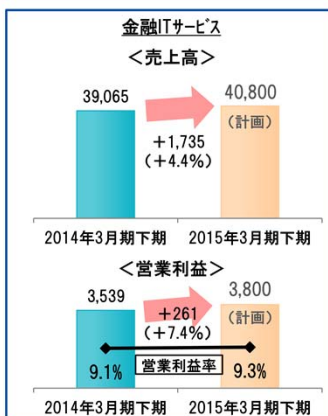
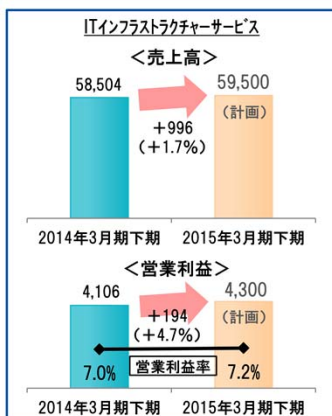
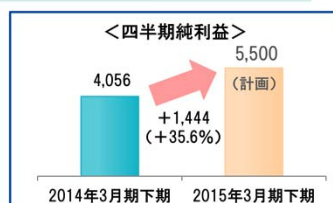
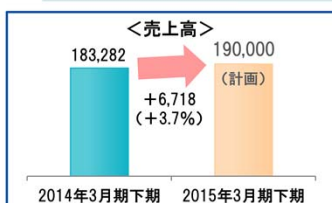
(単位:百万円)



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。
Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

2015年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。
Copyright © 2014 IT Holdings Corporation All rights reserved.

2015年3月期第1四半期 ITHDグループ プレスリリース/お知らせ

発表日付	タイトル
2014/4/3	ビジネスクラウドサービス「EINS/SPS シリーズ」、高速ストレージの新機能(SSD型のオールフラッシュアレイ)を提供開始(インテック)
2014/4/3	TIS、インドネシアトップクラスのSAPベンダーPT Soltilus Indonesiaと提携(TIS)
2014/4/7	TIS、システムの概念実証を行う「TIS E-Labo」に最新機種を用いたインメモリ検証環境を追加(TIS)
2014/4/7	ふくおかフィナンシャルグループ インテック「F3(エフキューブ)CRMシステム」を導入(インテック)
2014/4/8	アスクルの新しい統合マーケティング基盤刷新をTISとSASが支援(TIS)
2014/4/9	TIS、「SAP® Mobile Platform」および「SAP® Afaria」の短期導入サービスの提供を開始(TIS)
2014/4/10	クオリカ、コマツよりCCSS-Net事業の一部を譲受(クオリカ)
2014/4/15	TIS、「SAP® BusinessObjects BI, Analytics Editions」短期導入サービスの提供を開始(TIS)
2014/4/16	TIS、クラウドサービス群を改めて体系化したコンセプト「3+1」の提供を開始(TIS)
2014/4/17	TIS、アマゾン ウェブ サービスの「AWS Test Driveプログラム」日本版に参加(TIS)
2014/4/17	TISとタイの上場IT企業であるMFECが資本・業務提携契約を締結(TIS)
2014/4/23	TISと野村総合研究所の関西地区での新データセンターにおける協業について(TIS)
2014/4/24	TIS、インドネシアで展開するクラウドサービス「Cloud Berkembang」に新たなオプションメニューを追加(TIS)
2014/5/8	業界初、マルチデバイス間鍵管理方式を採用した企業向け同期型ファイル共有ソリューション「SO-SOLA」の販売開始(インテック)
2014/5/8	開発拠点を万葉スクエアに集約 金融機関向け総合情報システム「F3(エフキューブ)」(インテック)
2014/5/9	ITHD グループ コーポレートロゴマークの統一と一新について(ITHDグループ)
2014/5/12	インテック、佐賀銀行へ「F3(エフキューブ)CRMシステム」を導入(インテック)
2014/5/14	TIS、中国で展開するクラウドサービス「飛翔雲(フエイシャンユン)」に新サービスメニューを追加(TIS)
2014/5/15	TISと日本オラルが、IBJL東芝リースの 決済ソリューション「T-CON PAYMENT」を支えるミッションクリティカルなサーバーをほぼ無停止で移設(TIS)
2014/5/16	EDIアウトソーシングサービス「EINS/EDI-Hub Nex」、「グローバルEDIサービス」と「帳票(PDF変換)機能」を提供開始(インテック)
2014/5/19	TISシンガポール現地法人が、B-EN-Gと「MCFRAME」のビジネスパートナー契約を締結(TIS)
2014/5/23	TIS、クレジットカード情報保護のためのセキュリティ基準PCI DSS認定ASVスキャンのクラウドサービスを開始(TIS)
2014/5/26	TIS、クラウド型危機管理情報共有システム「Bousaiz(ボウサイズ)」の提供を開始(TIS)
2014/5/28	TIS、ヘッドマウントディスプレイを活用した「VR内装体験システム」の提供を開始(TIS)
2014/5/29	鳥取銀行が、TISの与信管理ソリューション「SCORE LINK」を採用(TIS)
2014/6/3	TISの「SkyWare」が、JALUXの提供するスマホのガイドアプリ「JCI ASPAC YAMAGATA NAVI」で採用(TIS)
2014/6/11	TIS、米国CLOプラットフォームベンダーのCardSpring社と提携(TIS)
2014/6/16	インテック、「MCFRAME Partner of the Year」10回目の受賞(インテック)
2014/6/19	TIS、グループを再編しお客様対応力を強化へ子会社間の合併と事業移管を実施 - (TIS)
2014/6/19	クオリカ、TISファーストマネージから組込事業を受入(クオリカ)
2014/6/27	TISによるタイ I AM Consulting Co., Ltd.の連結子会社化について(TIS)



IT HOLDINGS

Go Beyond

(ご注意事項)

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。